

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 535 号	氏名	栞田 智子
学位審査委員	主査 永山 雄二 副査 永田 泉 副査 中尾 一彦		
論文審査の結果の要旨			
<p>1 研究目的の評価</p> <p>重症筋無力症はほとんどがアセチルコリン受容体 (AchR) に対する自己抗体が原因の自己免疫疾患である。抗 AchR 単クローン性抗体 monoclonal antibody 35 (mAb35) は受容体の主要免疫原性領域 (main immunogenic region; MIR) を認識する抗体として単離された。本研究ではこの mAb35 を用いた新しい抗 AchR 抗体測定法を確立し、その抗体価と臨床症状について比較検討したもので、目的は十分に妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価</p> <p>^{125}I-αbungarotoxin-AchR を抗原として、患者血清と mAb35 を競合阻害させ、免疫沈降法で抗体価を測定する方法を確立し、抗体価を測定した。同時に従来 of 測定法でも抗体価を測定した。これらの抗体価と種々の臨床パラメーターとの相関を検討した研究手法は妥当である。</p> <p>3 解析・考察の評価</p> <p>従来法に比較して、新しい抗体測定法では感受性はやや低いものの、臨床パラメーターとより強い相関が認められ、新しい測定法の有用性が示唆された。これらの結果は、今後の重症筋無力症病態研究への進展が大いに期待される。</p> <p>以上のように本論文は自己免疫性神経疾患研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士 (医学) の学位に値するものと判断した。</p>			